

1. 今年度業務の目的と基本的な考え方

1-1. 今年度業務の目的

(1) これまでの取組み背景

「普天間飛行場の跡地利用の促進及び円滑化等に係る取組分野ごとの課題と対応の方針についての取りまとめ」を受けて、「普天間飛行場関係地権者等意向把握全体計画（平成13年度）」が策定された。その後、「跡地利用計画」、「地権者等意向醸成」に関する取組みが継続して進められている。

①跡地利用計画

跡地利用計画については、「跡地利用基本方針、行動計画の策定」、「キックオフ・レポート（土地利用・環境づくり提案）の作成」、「全体計画の中間取りまとめ（素案）作成」、「全体計画の中間取りまとめの策定」という流れで段階的に具体化が進められている。

平成29年度は、過去の検討経緯の整理を行うと共に、計画内容の具体化に向けた課題等を抽出し、「普天間公園（仮称）懇談会」の提言や関連計画の検討経過を踏まえた配置方針・配置方針図の更新に向けた検討が行われた。

平成30年度は、広域インフラに関する各関係部局の検討状況や周辺市街地を取り巻く状況の変化等を踏まえた配置方針・配置方針図の更新に向けた検討が行われた。

今後も計画内容の具体化に向けた検討を進め、配置方針図の更新、「跡地利用計画（素案）」の策定を行い、「跡地利用計画」の策定に向けて取組んでいく。

②地権者等意向醸成

合意形成に向けた場づくり・人づくり・組織づくり等の活動を長期的展望のもとに展開し、「普天間飛行場の跡地を考える若手の会（以下、若手の会）」、「ねたてのまちベースミーティング（以下、NB ミーティング）」の組織化等が図られている。

平成30年度には、継続して開催する事を前提とした新たな取組みとして「まちづくり講座」を開催し、地権者や市民誰もが宜野湾市のまちづくりを学べる場の創出に向けた取組みを行った。

また、各種団体や地域、大学生を始めとする若い世代等との連携のもと、協働の取組みが展開されている。

今後も両組織の成熟具合等を勘案しながら、将来的な組織の自立化を促すような取組みに向けて進めていく。

(2) 本業務の目的

今後、配置方針図の更新がなされた後、「跡地利用計画（素案）」策定が計画されていることから、地権者等意向醸成（本業務）においても計画の具体化に対応した合意形成を展開する必要がある。

従って今年度は、「全体計画の中間取りまとめ」策定以降に進められてきた主な検討内容についての周知を図ると共に、「跡地利用計画（素案）」策定後の事業化に向けた対応を見据え、昨年度に引き続き地権者の意向集約に向けた体制づくり、市民に関しては跡地利用への関心向上に向けた体制づくりを進めていく。

1-2. 今年度業務の基本的な考え方

前頁の目的を踏まえ、今年度業務の取組み方針と基本的な考え方は、以下の通りとした。

【取組み方針と基本的な考え方】

取組み方針	考え方
地権者、市民が跡地利用計画に関する検討内容を理解し、意見を発信できるような機運醸成を目指す	将来的な跡地利用計画策定に向け、「全体計画の中間取りまとめ」における「配置方針・配置方針図」更新に向けた検討が現在進められており、計画の進捗に合わせて地権者・市民の意見が求められる事となる。 その際、地権者・市民が跡地利用計画に対して的確な意見を述べるためには十分な情報提供と理解が必要となる事から、地権者・市民の跡地利用に対する意識・関心の向上に取り組む。
普天間飛行場返還後のまちづくりに関して、将来的に地権者・市民をけん引する人材の育成に継続して取り組む	若手の会については地権者との意見交換会、NB ミーティングについては普天間飛行場周辺地域との意見交換を行う等、普天間飛行場返還後のまちづくりをけん引する人材の育成を目指して継続した取組みを進めていく。
地権者・市民が一体となったまちづくりの機運醸成に向けた取組みを実施する	跡地利用計画の策定期間が迫り、周辺市街地整備の具体化も求められてくる中、今後はより一層、地権者・市民の関わりが不可欠となり、そのための機運醸成や議論の場が必要となる。 これまでも地権者・市民に対し、様々な情報発信、意向把握、意向集約の取組みを実施してきたが、今後は多岐に渡る個別の取組みを関連させて実施し、跡地利用への気運を高めていくと共に、地権者・市民誰もが宜野湾市のまちづくりを学べ、考え、発言でき、共通の目標に向かっていく取組みを進めていく。

これらを踏まえ、今年度業務では、引き続き若手の会を中心とした跡地利用に関する検討の深度化を図ると共に、地権者との意見交換を実施した。

市民に対しては、跡地利用への関心向上に向けた継続的な情報発信や各種取組みを行う事とあわせ、市民側の跡地利用を検討する組織であるNB ミーティングの活動の活性化を図った。

また、NB ミーティングについては、普天間飛行場周辺市街地のまちあるきを通して、地域住民との意見交換を行い、跡地利用計画に関する地域の声を拾い上げた。

更に、昨年度から実施している「まちづくり講座」については継続して実施し、地権者、市民誰もが普天間飛行場返還後のまちづくりを学び、考える事のできる場の提供を行った。

最後に、上記取組みに関する評価・検証の場として、「普天間飛行場跡地まちづくり合意形成懇話会（以下、懇話会）」を継続して実施した。